近代日本のクリスチャン経営者たち

山口陽一 著

近代化の始まった明治時代に、キリスト教伝道も再開された。クリスチャンの中には、起業家も多く生まれ、信仰に根差した経済活動を行い、得られた収益を社会のために還元する例も見られた。本書では、20人以上のクリスチャン経営者の足跡をコンパクトにまとめて紹介。未知の分野を果敢に切り開いた姿は、閉塞してしまった現代に生きる人々に、新たなスタートへの示唆を与えてくれるはずだ。

山口陽一（やまぐち・よういち）

1958年生まれ、東京基督教大学教授・学長（日本キリスト教史、実践神学）、日本同盟基督教団正教師・理事。東京と群馬で牧師を経て2004年から東京基督神学校校長、東京基督教大学大学院委員長を歴任し2018年から現職。編著に『日本開国とプロテスタント宣教150年』（いのちのことば社）、『復刻日本基督一致教会信仰ノ箇条』・『日本キリスト教歴史人名事典』（教文館）など多数。

B6判 92頁 定価1,100円（本体1,000円＋税）
ISBN978-4-264-04407-9 C0016
いのちのことば社　卸コード 12220